

音を響かせる 音を遮る 音で癒される

例えば美しい音、心地よい音の響きを楽しむ部屋は、音響効果を考えて。家族や仲間が集まって、遅くまで談笑する部屋では、防音対策が大切。音対策には「防音」「音響」「創音」の3種類があり、空間と使い方に合わせて考える必要があります。

防音



スタンダード(S)防音

本格的に音を楽しむ、オーダーメイド防音。

ホームシアターやAVルーム、ピアノの練習室など、本格的に音を楽しむ部屋の防音。優れた防音性能と、迫力ある音響効果を実現します。



アドバンス(A)防音

やや大きな音を出す部屋に、ハイレベル防音。

ピアノを弾いたり、カラオケを楽しむ部屋の防音。天井・壁・床や開口部など、あらゆる部分に防音材料を使用して、高度な防音性能を確保します。



ベーシック(B)防音

暮らしの中の音を防ぐ、生活音対策。

リビングや寝室などで、普段の生活騒音にわずらわれないための防音。壁や天井など、壁全体の下部に防音材料を使うことで、静かな住空間が生まれます。

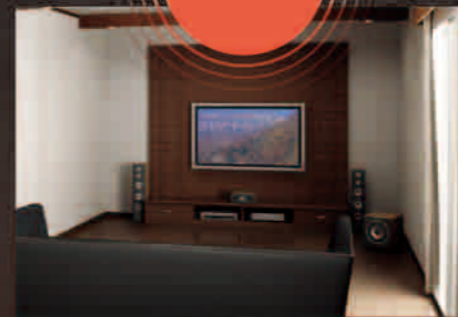
音響



美しい音、心地よい音の響きをじっくり楽しむための環境づくり。

テレビや音楽を楽しむためには、室内の音の響きを良くする必要があります。そのためには、音の届きやすい場所(天井の高い部分)や死点(音圧の極端に低い部分)をつくらないこと。部屋の設計と吸音材・反射材・拡散材の適切な配置により、最適な音響効果を実現できます。

創音



音と映像を楽しむ、アミューズメント空間のために。

お気に入りのAVソフトを満足のいく条件で楽しむためには、快適な空間づくりが大切。AV機器の種類やレイアウトはもちろん、部屋の大きさや防音・音響・遮光・照明設備などによっても、音と映像の迫力は異なります。また光環境・空気環境・温熱環境によって、さらにワンランク上の快適さを楽しめます。

こんな防音ルームに憧れるね。

